

## ○山行報告 雲取山 (2017.1m)

東京都奥多摩町 <<大宮岳稜会>>

日時:令和4年(2022年)9月25(日), 26(月)1泊2日【個人】提出者>久保

プラン:担当正>久保、メンバー:久保 合計1名

車提供者:無 公共交通機関使用

行程:

■【1日目】9月25日(日)自宅5:10発 電車 6:07大宮発→(JR湘南新宿ライン)6:39新宿着、6:46新宿発→(JR特別快速ホリデー快速おくたま1号)8:22奥多摩着、バス 8:34奥多摩駅発→(西東京バス)9:08お祭バス停着

歩き 9:08出発→→9:10雲取山・飛龍山登山口→→11:49~12:09丹波天平(20)→→12:50~12:56サオウラ峠→→15:10三条の湯 テント泊(1日目行動時間6時間2分)

■【2日目】9月26日(月)6:16三条の湯発→→三条ダルミ→→10:00雲取山山頂避難小屋→→10:02~12:17雲取山山頂2017.1m→→10:47~10:53小雲取山→→11:09~11:19ヨモギノ頭→→12:09~12:23七ツ石山 1757.3m→→12:43~13:05七ツ石小屋→→15:13小袖登山口→→15:55鴨沢バス停着(2日目行動時間9時間39分)合計行動時間15時間41分

バス 16:03鴨沢発(西東京バス)→16:39奥多摩駅着、電車 16:52奥多摩—青梅—西国分寺—南浦和—19:04大宮着 自宅19:55着

装備:ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、非常食、ファストエイド、帽子、グローブ、スパッツ、サングラス、ストック、

テント、シュラフ、マット、シュラフカバー、着替え、タオル

個人食:バーナー、食器、カテラリー、食事4食(25昼、夜、26朝、昼)

特記:【注意!】青梅街道(国道411号)6月15日に発生した落石により通行止めとなっており、バスは「お祭」バス停での折り返し運転。

感想:奥多摩駅では満員だったバスも途中で少しづつ下車し、終点の「お祭」バス停に到着したときには私一人。他の雲取山への登山者は手前の「鴨沢」で降りてしまった。

1日目は天平(でんでいろう)尾根から三条の湯に行くルート。途中で会ったのは三条の湯到着少し前にすれ違ったトレランランナー1人のみ。三条の湯に到着し受付を済ませ、テントを張る。その後の一番風呂はとてもきもちよく、身体が軽くなった。受付時、夕食を注文できたので、夕食までの間は受付近くのベンチで食事を待ちながら明日の予定確認と読書。食事は小屋泊の2人と一緒にとり、会話をしながらのんびり過ごしてからテントに戻ろうとすると雨が降り始めていた。夜は雨が降っていたようだが、テント場は沢のすぐ脇のため、沢の大きな音に消されてテントに当たる雨の音は気にならない。朝4時過ぎにテントから顔を出すと木の枝の隙間から星がよく見える。結局昨夜は小屋泊2人、テント泊3名だったようだ。テントを撤収し、小屋の主人に挨拶して出発。

2日目 三条の湯から三条ダルミを通して雲取山山頂までのルートは、人は少なく、会ったのは三条の湯でテント泊の男性と、雲取山山頂から下山してきたカップルのみ。2人は昨日山頂付近の避難小屋に宿泊し、今朝、雲取山山頂でご来光を見てから下山してきたそうで、「雲海からのぼる朝日が最高にきれいだった」とのことでした。(風呂もいいけど、ご来光もいいな!)

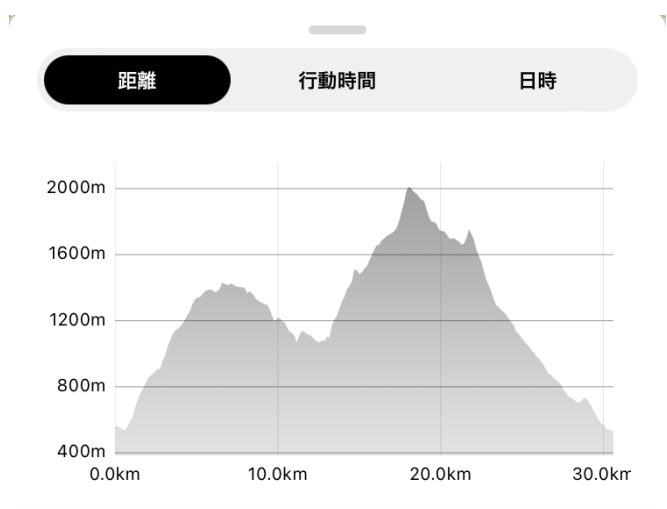
雲取山山頂から鴨沢へのルートは多くの人とすれちがいました。七ツ石小屋のご主人猫「でんごろう」にも会ってきました。午前中を中心に雲も少なく天気が良く、空気も澄んでいて山頂や途中の展望のよいところからも富士山や南アルプス等最高の景色が見れた。

反省:スマホとウォッチの充電用ケーブル忘れ(スマホ用ケーブルは途中コンビニで調達。ウォッチ用ケーブルは調達できず、帰りの途中で電源切れ)。道まちがいによる戻り2回(内1回は登山者用駐車場におりてきてからの間違い)。左足首をひねったために2日目は予定していた時間よりも下山が遅くなり、予定していたバスの時間ぎりぎりになった。

ルート図、写真(添付自由)



ルート図



高度—距離グラフ



雲取山山頂から富士山方向



七ツ石山山頂から雲取山方向